

盛岡市出資等法人の第三者評価結果に対する措置計画に基づく措置状況

番号	3	法人名	一般財団法人 盛岡市勤労者福祉サービスセンター	所管課	商工観光部 経済企画課
----	---	-----	----------------------------	-----	----------------

1 法人の課題

【公益性】

多種多様なサービスがある中で、利用者のニーズを適切に把握し、公益性とのバランスを考慮した事業内容の見直しを図りながら公益性の向上に取り組む必要があります。

対応策		措置状況		
サービスセンターは、低価格で地域に密着した事業を展開してきたところに特色があります。多様化する会員ニーズに呼応しながら、地域に根差し、会員の生活に密着した事業内容を強化・充実することにより、会員からの支持が得られることに繋がり、公益性（会員）の拡大に結びつくものと考えます。 このため、会員サービス・ニーズを常に調査し、新鮮なサービスメニューの維持に努力するとともに、他のサービスセンターが成功した新しいサービスメニューについて情報を共有し、導入の検討を行います。 また、会員企業の商品などの廉価販売など独自のメニューによるサービス内容の充実・向上に取り組めます。		平成 25 年度から一般財団法人に移行したことから、公益性を高める取組として、家庭菜園畑の貸出しや、観劇・鑑賞チケット販売等を従来以上に一般市民も対象としていることを明確にして行いました。 会員に対するアンケート調査は実施しておりませんが、加入促進員の未加入事業所訪問の際に、地域に密着した事業を行っていることも加え説明勧誘を行うとともに、会員事業所訪問時にはサービスメニューに対する意見・要望を収集しました。 また、会員事業所（団体）との連携について、事業の共催や後援のほか、事業（参加）チケットの定価・割引販売等を行うとともに、事業所がセンターを活用した新たな事業展開を図るための協議等を行いました。 また、センターサービスの向上を図るため、新規提携施設の開拓を行いました。		
＜取組工程＞		＜取組実績＞		
年度	取組内容	年度	取組内容	達成状況
25 年度	① 会員アンケート調査及び加入促進員聞き取り調査による新規事業の導入検討	25 年度	＜新規・評判事業の導入・継続＞ ア モバイルによる新着情報の提供（映画・観劇、新規割引指定店情報など）	○
	② 新規提携施設開拓，事業所提供商品の助成事業化の推進		イ 全福センターと連携した協同購入事業の継続（中元・歳暮ギフト，家庭常備薬等）	○
	③ 全国及び東北地区の事業情報の収集・調査		ウ 団体加入保険（全福ネット入院あんしん保険）の紹介	○
26 年度	① 調査結果に基づく新規事業の導入		エ 小規模企業共済，経営セーフティ共済の紹介	○
	② 同上			
	③ 同上			
27 年度	① 同上			

盛岡市出資等法人の第三者評価結果に対する措置計画に基づく措置状況

番号	3	法人名	一般財団法人 盛岡市勤労者福祉サービスセンター	所管課	商工観光部 経済企画課
----	---	-----	----------------------------	-----	----------------

	② 同上				
	③ 同上				
				<新規提携施設の開拓> ア 割引指定店の拡大 ○ イ 既割引指定店のサービスメニューの拡大 ○ 併せて 26 店舗拡大 <会員事業所との連携> ア 商工会議所との連携(八幡はしご祭り, スウィートバルのチケット割引販売) ○ イ 会員団体との連携 ○ 盛岡地区勤労者協議会…憲法講習会など 4 事業 岩手県労働者福祉協議会…岩手県労働者美術展など <全国及び東北地区の事業情報の収集・調査> ・全国勤労者福祉サービスセンター会議及び同東北地区ブロック会議において, 各都市の事業の収集を行った。 ○ ・東北地区において, 各センター会員参加の共同事業を 26 年度に行うこととした。	
				26 年度 <新規・評判事業の導入・継続> ア モバイルによる新着情報の提供(映画・観劇, 新規割引指定店情報など) ○ イ 全福センターと連携した協同購入事業の継続(中元・歳暮ギフト, 家庭常備薬等) ○ ウ 団体加入保険(全福ネット入院あんしん保険)の紹介 ○ エ 小規模企業共済, 経営セーフティ共済の紹介 ○ <新規提携施設の開拓>	

盛岡市出資等法人の第三者評価結果に対する措置計画に基づく措置状況

番号	3	法人名	一般財団法人 盛岡市勤労者福祉サービスセンター	所管課	商工観光部 経済企画課
----	---	-----	----------------------------	-----	----------------

		ア 割引指定店の拡大 イ 既割引指定店のサービスメニューの拡大 前年度に割引指定店の伸びが比較的大きかったこともあり、26年度は新規契約3店、契約解除5店と総数では減となった。 ＜会員事業所との連携＞ ア 商工会議所との連携（八幡はしご祭り、のチケット割引販売） イ 会員団体との連携 盛岡地区勤労者協議会…軟式野球大会など2事業 岩手県労働者福祉協議会…岩手県労働者美術展など2事業 ＜全国及び東北地区の事業情報の収集・調査＞ ・全国勤労者福祉サービスセンター会議及び同東北地区ブロック会議において、各都市の事業の収集を行った。 ・東北地区の各センター会員参加の共同事業として、各会員が独自に行ったボーリングの得点を東北全体で競う大会を実施（1.2位など上位は当センター会員）した。	○
	27年度	＜新規・評判事業の導入・継続＞ ア モバイルによる新着情報の提供（映画・観劇、新規割引指定店情報など） イ 全福センターと連携した協同購入事業の継続（中元・	○

盛岡市出資等法人の第三者評価結果に対する措置計画に基づく措置状況

番号	3	法人名	一般財団法人 盛岡市勤労者福祉サービスセンター	所管課	商工観光部 経済企画課
----	---	-----	----------------------------	-----	----------------

		歳暮ギフト、家庭常備薬等) ウ 団体加入保険(全福ネット 入院あんしん保険)の紹介 エ 小規模企業共済, 経営セー フティ共済の紹介 〈新規提携施設の開拓〉 会員証の提示により, 割引料 金で利用できる施設・店舗等 の新規開拓に努めた。 〈会員事業所との連携〉 ア 商工会議所との連携(八幡 はしご祭りのチケット割引 販売) イ 会員団体との連携 盛岡地区勤労者協議会…学 習講演会など3事業 岩手県労働者福祉協議会… 岩手県勤労者美術展など 2事業 〈全国及び東北地区の事業情 報の収集・調査〉 ・全国勤労者福祉サービスセン ター会議及び同東北地区ブロ ック会議において, 各都市の事 業の収集を行った。 ・東北地区の各センター会員参 加の共同事業として, 各会員が 独自に行ったボーリングの得 点を東北全体で競う大会を実 施し5事業10名が参加した。	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
--	--	--	--

盛岡市出資等法人の第三者評価結果に対する措置計画に基づく措置状況

番号	3	法人名	一般財団法人 盛岡市勤労者福祉サービスセンター	所管課	商工観光部 経済企画課
----	---	-----	----------------------------	-----	----------------

【計画性】

会員数の増加を計画しているところですが、本来の目標数を大きく下回っており、かつその低く設定した目標も達成が困難な状況です。事業の基盤となる会員拡大について、中長期的な視点に立ち、取組を強化することが必要です。

対応策	措置状況
会員数は、景気の変動に左右される面はありますが、事業主においては従業員の福利厚生は必要との認識はあることから、当面、会員数 5,000 人台を目標に取り組みます。 このため、サービスセンターが提供する福利厚生サービスの内容並びにサービスの提供方法の改善を図るとともに、サービスセンター事業を広く周知するように工夫します。 また、商工団体など各業界団体や労働団体、市との連携・協力のもとに、きめ細かな PR・加入促進活動を行います。 中長期的な自立化計画を策定し、効果的・効率的な会員拡大に取り組みます。	従業員の定着には福利厚生の充実が必要との事業所の認識はあるため、事業所、従業員及び双方にメリットとなるセンターのサービス内容の理解を得ながら、商工団体の総会・研修会、セミナーや労働団体（組合）の会議等で説明の場を設定し加入促進活動を行いました。また、加入促進員 2 名により対象事業所・団体、エリアを絞り未加入事業所を訪問したほか、加入事業所の未加入従業員の加入促進の活動を行うとともに、盛岡及び近郊市町村に新聞折込、DM を配送し周知を行ったほか、民放ラジオ CM や、路線バスアナウンスを活用して宣伝活動を行いました。27 年度は、試行的に平成 28 年元旦から 7 日間（1 日 1 回）、新春の挨拶を兼ねた「テレビ CM」を行いました。 これと併行して、センターの知名度を高め、関心を喚起するため、本年度から一般財団法人に移行したのを機に、愛称を地元紙及びインターネットにより全国に発信して募集し、多数の応募を得て 25 年度に愛称を決定し、これに引続き、同様に 26 年度は当センターのイメージキャラクターを募集し、決定しました。愛称、キャラクターともに当センターニュースや封筒に印刷し、宣伝に努めました。 また、自立化計画の検討の前段階として、25 年度に会員数減の状況を再度確認するための調査を行った結果、①会員事業所の退会により事業所の全従業員（会員）がその意向に関わらず全員退会すること、②本来の会員資格年齢（70 歳）前に、定年退職等による退会すること、③退職後の再就職先が会員事業所ではなくフォローがないこと、が総退会数が総入会数を結果的に上回り、会員減少の一因となっていることから、これらの退会会員が継続して会員を希望する場合に、個人として加入できる個人会員制度を新設（26

盛岡市出資等法人の第三者評価結果に対する措置計画に基づく措置状況

番号	3	法人名	一般財団法人 盛岡市勤労者福祉サービスセンター	所管課	商工観光部 経済企画課
----	---	-----	----------------------------	-----	----------------

<取組工程> <table><tr><th>年度</th><th>取組内容</th></tr><tr><td>25 年度</td><td>① 各種会員加入促進活動の強化 ② 加入促進員の未加入事業所訪問 ③ 広報・宣伝活動の取組 ④ 自立化計画の策定</td></tr><tr><td>26 年度</td><td>自立化計画に基づく会員拡大の取組</td></tr><tr><td>27 年度</td><td>同上</td></tr></table>		年度	取組内容	25 年度	① 各種会員加入促進活動の強化 ② 加入促進員の未加入事業所訪問 ③ 広報・宣伝活動の取組 ④ 自立化計画の策定	26 年度	自立化計画に基づく会員拡大の取組	27 年度	同上	年度施行) し, 退会による会員減少を押さえ会員数の維持を図る措置を講じ, 26 年度末の個人会員は 12 名でほぼ想定どおりとなりました。 また, 70 歳を超えても元気で安心して働くことができるようにとの会員の要望を検討し, 会員数の維持拡大にも寄与することから, 26 年度に会員資格年齢を「70 歳まで」から「80 歳まで」に引上げの改正 (27 年度施行) しました。 <取組実績> <table><tr><th>年度</th><th>取組内容</th><th>達成状況</th></tr><tr><td rowspan="6">25 年度</td><td>【加入促進・宣伝活動の取組】 ア ご紹介・ご入会キャンペーンの実施 (年 2 回 5 ～ 7 月, 11 ～ 2 月)</td><td>○</td></tr><tr><td>イ 新聞折込チラシ (295, 000 部), DM (133, 585 通) による宣伝・勧誘の実施</td><td>○</td></tr><tr><td>ウ ラジオ CM (1 ～ 3 月週 3 回)</td><td>○</td></tr><tr><td>エ 路線バス車内放送 (岩手県交通バス 通年 2 路線)</td><td>○</td></tr><tr><td>オ 広告掲載 ・盛岡商工会議所ニュース (5, 8, 12, 1 月号) ・岩手日報 (10 ～ 12 月週 2 回) など</td><td>○</td></tr><tr><td>カ 盛岡市・関係団体の勤労者福祉事業等への参加・協力を通じた事業の周知 ・盛岡市…環境緑化まつり ・盛岡地区勤労者協議会…憲法講習会など 4 事業 ・岩手県労働者福祉協議会…岩手県労働者美術展 (10 ～</td><td>○</td></tr></table>		年度	取組内容	達成状況	25 年度	【加入促進・宣伝活動の取組】 ア ご紹介・ご入会キャンペーンの実施 (年 2 回 5 ～ 7 月, 11 ～ 2 月)	○	イ 新聞折込チラシ (295, 000 部), DM (133, 585 通) による宣伝・勧誘の実施	○	ウ ラジオ CM (1 ～ 3 月週 3 回)	○	エ 路線バス車内放送 (岩手県交通バス 通年 2 路線)	○	オ 広告掲載 ・盛岡商工会議所ニュース (5, 8, 12, 1 月号) ・岩手日報 (10 ～ 12 月週 2 回) など	○	カ 盛岡市・関係団体の勤労者福祉事業等への参加・協力を通じた事業の周知 ・盛岡市…環境緑化まつり ・盛岡地区勤労者協議会…憲法講習会など 4 事業 ・岩手県労働者福祉協議会…岩手県労働者美術展 (10 ～	○
年度	取組内容																										
25 年度	① 各種会員加入促進活動の強化 ② 加入促進員の未加入事業所訪問 ③ 広報・宣伝活動の取組 ④ 自立化計画の策定																										
26 年度	自立化計画に基づく会員拡大の取組																										
27 年度	同上																										
年度	取組内容	達成状況																									
25 年度	【加入促進・宣伝活動の取組】 ア ご紹介・ご入会キャンペーンの実施 (年 2 回 5 ～ 7 月, 11 ～ 2 月)	○																									
	イ 新聞折込チラシ (295, 000 部), DM (133, 585 通) による宣伝・勧誘の実施	○																									
	ウ ラジオ CM (1 ～ 3 月週 3 回)	○																									
	エ 路線バス車内放送 (岩手県交通バス 通年 2 路線)	○																									
	オ 広告掲載 ・盛岡商工会議所ニュース (5, 8, 12, 1 月号) ・岩手日報 (10 ～ 12 月週 2 回) など	○																									
	カ 盛岡市・関係団体の勤労者福祉事業等への参加・協力を通じた事業の周知 ・盛岡市…環境緑化まつり ・盛岡地区勤労者協議会…憲法講習会など 4 事業 ・岩手県労働者福祉協議会…岩手県労働者美術展 (10 ～	○																									

盛岡市出資等法人の第三者評価結果に対する措置計画に基づく措置状況

番号	3	法人名	一般財団法人 盛岡市勤労者福祉サービスセンター	所管課	商工観光部 経済企画課
----	---	-----	----------------------------	-----	----------------

[illegible]

盛岡市出資等法人の第三者評価結果に対する措置計画に基づく措置状況

番号	3	法人名	一般財団法人 盛岡市勤労者福祉サービスセンター	所管課	商工観光部 経済企画課
----	---	-----	----------------------------	-----	----------------

	27 年度	【加入促進・宣伝活動の取組】 ア ご紹介・ご入会キャンペーンの実施 (年 2 回 5～7 月, 11～3 月) イ 新聞折込チラシ (97, 200 部), DM (2, 368 通) による宣伝・勧誘の実施 ウ ラジオ CM (1～3 月週 3 回) エ 路線バス車内放送 (岩手県交通バス 通年 2 路線) オ 広告掲載 ・盛岡商工会議所ニュース (5, 9, 1, 3 月号) ・盛岡文士劇プログラム, 盛岡文化振興事業団「ポケットへの広告」 カ 盛岡市・関係団体の勤労者福祉事業等への参加・協力を通じた事業の周知 ・盛岡市…環境緑化まつり ・盛岡地区勤労者協議会…学習講演会など 3 事業 ・岩手県労働者福祉協議会…岩手県労働者美術展 (12 月) など 2 事業 【自立化計画の策定】 自立化計画の前段階として会員数減傾向の対策である会員資格年齢の引上げを内容とする規程の施行	○

盛岡市出資等法人の第三者評価結果に対する措置計画に基づく措置状況

番号	3	法人名	一般財団法人 盛岡市勤労者福祉サービスセンター	所管課	商工観光部 経済企画課
----	---	-----	----------------------------	-----	----------------

【経営管理の仕組み】

事業内容を広く周知するため、加入促進員を雇用するとともに、役員の協力もあわせて取組んでいるところですが、人員が少ないように見受けられるため、適正な人員配置のあり方も検討することが望まれます。

対応策	措置状況														
会員拡大については、福利厚生サービス内容の充実し、提供方法を改善することにとどまらず、サービスセンター事業についてきめ細やかな PR・加入促進活動が必要です。一方では、市補助金の大幅な抑制も進むなか、事務の効率化を図りながら人件費の抑制を図っていくことも必要です。このため、自立化計画を策定するなかで、効果的な人員配置による事務局体制の強化について検討し、会員拡大に取り組みます。	会員拡大のための加入促進員 2 名、センターの管理・運営 4 名の現在体制は、必要最小限の人員と考えています。 近年の会員数が微減で推移する中で、市の運営費補助金が殆ど毎年 130 人分の会費相当額削減されており、この状態が継続することによる財務管理上の危機を感じています。 このため自立化計画の策定を計画していましたが、策定の前段階として、25 年度に会員数減の状況調査を行い、退会会員を個人会員として留める制度を新設（26 年度から実施）しました。今後とも、個人会員制度の周知により、会員数維持と財務維持に寄与するよう退会会員の加入に継続的に努めてまいります。 また、26 年度に会員資格年齢の引上げ（27 年度施行）を行い、早速若干名が一般会員として再入会しております。 また、当センターの所属する団体の研修会等を通じて、現事務局人員の配置、会員拡大策について情報交換を行いました。当センターと同規模のセンターでは事務局数が 4 人程度と余り差が無く、現段階では増員は考えていない状況です。														
<取組工程> <table><tr><th>年度</th><th>取組内容</th></tr><tr><td>25 年度</td><td>①事務局体制の他都市事例調査 ②適正な人員配置の検討</td></tr><tr><td>26 年度</td><td>検討結果に基づき実施</td></tr><tr><td>27 年度</td><td>同上、検証</td></tr></table>	年度	取組内容	25 年度	①事務局体制の他都市事例調査 ②適正な人員配置の検討	26 年度	検討結果に基づき実施	27 年度	同上、検証	<取組実績> <table><tr><th>年度</th><th>取組内容</th><th>達成状況</th></tr><tr><td>25 年度</td><td>○全国勤労者福祉サービスセンター主催の研修会や東北ブロック会議等で、事務局人員・会員拡大等の成功事例の状況について他都市センターと情報交換を実施</td><td>○</td></tr></table>	年度	取組内容	達成状況	25 年度	○全国勤労者福祉サービスセンター主催の研修会や東北ブロック会議等で、事務局人員・会員拡大等の成功事例の状況について他都市センターと情報交換を実施	○
年度	取組内容														
25 年度	①事務局体制の他都市事例調査 ②適正な人員配置の検討														
26 年度	検討結果に基づき実施														
27 年度	同上、検証														
年度	取組内容	達成状況													
25 年度	○全国勤労者福祉サービスセンター主催の研修会や東北ブロック会議等で、事務局人員・会員拡大等の成功事例の状況について他都市センターと情報交換を実施	○													

盛岡市出資等法人の第三者評価結果に対する措置計画に基づく措置状況

番号	3	法人名	一般財団法人 盛岡市勤労者福祉サービスセンター	所管課	商工観光部 経済企画課
----	---	-----	----------------------------	-----	----------------

	26 年度	○全国勤労者福祉サービスセンター主催の研修会や東北ブロック会議等で、事務局人員・会員拡大等の成功事例の状況について他都市センターと情報交換を実施	○
	27 年度	○全国勤労者福祉サービスセンター主催の研修会や東北ブロック会議等で、事務局人員・会員拡大等の成功事例の状況について他都市センターと情報交換を実施	○

凡例：達成済み（◎），実施進行中（○），未達成（△）